

高校保健・副教材の使用中止・回収を求める会
〈連続勉強会「国難」のなかのわたしたちのからだ：第5回〉

STOP！自治体の道徳PR事業

愛媛県・まじめえひめプロジェクトへの抗議 —緊急報告と、使用された「統計」の検証

愛媛県は昨年4月から、「まじめえひめ」プロジェクトを開始しました。同県の「県民性」を「まじめ」と規定し、積極的に発信していくものです。すでに統計の誤りと盗用問題、長時間介護の美德化、セクハラ動画の配信などに批判が起きていますが、この事業は自治体PRの名を借りた県民への「道徳教育」プロジェクトともいえ、とても危ない動きです。その一環である「県民動画」では、頑張らないものは「淘汰」といった表現まで発信されています。

官公庁が特定の政策を進めるとき、それを正当化する根拠の一つが統計です。だからこそ統計が歪められ、悪用されることも。政策と統計の危うい関係や市民のリテラシーについて愛媛を事例に探ります。

日時：2020年2月2日（日）14:00—16:30

会場：渋谷男女平等・ダイバーシティセンター〈アイリス〉

（渋谷区文化総合センター大和田8階・渋谷駅西口徒歩5分）

参加費：500円（学生・非正規雇用の方などは300円）

※準備の都合上、なるべく下記へお申込みをお願いします。当日参加も可。

プログラム

- 報告1. 西山千恵子（大学非常勤講師）
田中 重人（東北大学教員）
「愛媛県への抗議文——経緯と問題、県の対応」
- 報告2. 高橋さきの（翻訳者、お茶の水女子大学非常勤講師）
『県民性』をめぐる——『血液型』そして『淘汰』
- フロア討議

申込み・問合せ先：stopkyouzai@gmail.com

共催：リプロダクティブ・ライツと健康法研究会、レインボー・アクション 協力：女政のえん